



**WORLD
POLIO DAY**
IS 24 OCTOBER

endpolio.org | #EndPolio



国際ロータリー 第2510地区 財団ハンドブック

2023年 9月





ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

INDEX

1	ロータリー財団の使命	P4
2	ロータリー財団の基礎知識	P4
3	地区補助金による活動の種類	P6
4	グローバル補助金による活動の種類	P7
5	各委員会の任務	P9
6	各クラブが取り組むこと	P10
7	地区補助金基準	P11
8	グローバル補助金における重点分野	P11
9	地区グローバル補助金基準	P11
10	グローバル補助金による活動の種類	P12
11	グローバル補助金による奨学金	P12
12	グローバル補助金における要件	P13
13	平和フェローシップ	P14
14	ロータリー財団寄付認証	P16
	PHS申込書	P23
	2024-25年度 地区補助金申請書	P24
	2024-25年度 地区補助金申請書 記入例	P26
	クラブの参加資格認定:覚書(MOU)	P28

1 ロータリー財団の使命

ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の方々からの自発的な寄付のみに支えられ、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

2 ロータリー財団の寄付基礎知識

-- 寄付の種類について --

ロータリー財団への寄付にはいくつかの種類があります。

寄付をする時にどの基金に寄付をするかクラブ内でも議論しましょう。

寄付分類名		説明
年次基金	シェア	2021年7月1日より寄付の47.5%が3年後にDDF(地区財団活動資金)に、残りの47.5%が、WF(国際財団活動資金)に、5%が運営費になる。
	WF	寄付を全額WFに指定できる。WFは、グローバル補助金に対する上乗せやその他財団プログラムの資金等に活用される。
	重点分野	7つの重点分野のいずれかを指定して寄付できる。
ロータリー災害救援基金		ロータリー災害救援補助金を通じて活用される。特定の災害を指定することはできない。
ポリオプラス基金		ポリオ根絶活動を支援する。
恒久基金	シェア	元金はそのままだに、収益の50%がDDFに、残りの50%がWFになる。
	WF	利用可能な収益の全額がWFになる。WFは、グローバル補助金に対する上乗せやその他財団プログラムの資金等に活用される。
	ロータリー平和センター	ロータリー平和センター維持費や奨学金など、プログラム全体に係る費用を支援する。
	重点分野	7つの重点分野のいずれかを指定して寄付ができ、利用可能な収益がプロジェクトに活用される。
冠名基金		25,000ドル以上で冠名基金を設立することができる。寄付額や目的に応じて、基金の条件を選択できる。
その他の基金		承認済みのグローバル補助金への現金拠出や指定寄付、その他臨時に設置された基金への寄付。

-- 1.年次基金/ポリオプラス基金 寄付 --

年次基金(シェア・WF・重点分野)及びポリオプラス、承認された財団補助金へ1,000ドル以上寄付した方は、「ポール・ハリス・フェロー」の称号となります。

追加で1,000ドル以上をご寄付いただくごとに、「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」として認証されます。ポリオ根絶へのご寄付についても、ポール・ハリス・フェローの認証の対象となります。このご寄付は、すべての子供達に予防接種を行う為に生かされ、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍の上乗せの対象となります。(23ページの表参照)

-- 2.恒久基金寄付 --

恒久基金には、シェア、WF、ロータリー平和センター、重点分野、冠名基金の種類があり、1,000ドル以上の恒久基金の寄付者をベネファクターと言います。恒久基金への寄付をした場合、寄付は基金として積み上げ、その元金には手をつけずにその運用益のみを使用し、寄付の際は、シェア、WF、ロータリー平和センターを選択できます。運用益は一般管理費等に使われるほか、一部はWFやDDFでプロジェクトにも使用され、収益の50%がロータリー平和センターの維持費や奨学金、グローバル補助金の資金となります。年次基金が「今日の財団プログラムを支える」一方、恒久基金は「明日の財団プログラムを確かなものとする」ために、元金には手をつけず投資収益のみを使います。

これにより、世代を超えて大勢の人々を支援し、希望を分かち合うことができます。

寄付額に応じて、寄付者の名前をつけた『冠名基金』も設立できます。

-- 3.災害救援基金寄付 --

ロータリークラブによる災害救援活動や復興活動に生かされます。この基金へのご寄付は、特定の災害に指定することはできず、ロータリー災害救援補助金を通じて活用されます。

-- 4.重点分野/グローバル補助金提唱者 使途指定寄付 --

重点分野やグローバル補助金の提唱者側寄付に、あらかじめ使い道を決めて寄付をします。平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済と社会の発展、環境の保護、これらロータリーの重点分野の優先活動の中からも寄付先を指定して寄付ができます。

年次基金内の特定の活動分野に寄付を指定することができますが、地区財団活動資金(DDF)は生み出しません。

※その他臨時基金について等は、財団室や地区財団委員会及び各関係委員会までお尋ねください。

-- 補助金の種類 --

①地区補助金(District Grant)

資金が一括して支払われ、クラブや地区が地元や海外の差し迫ったニーズに取り組むために利用できます。

※詳細は、地区補助金の授与と受諾の条件をご確認ください。

②グローバル補助金(Global Grant)

プロジェクト総額30,000ドル～400,000ドルの範囲で、重点分野に直結し、長期的に大きな成果をもたらす持続可能な活動を支援します。

③ロータリー災害救援補助金(Rotary Disaster Response Grants)

2019年4月開始 ロータリー補助金の参加資格認定を得ている被災地区は、最高25,000ドルまでを申請できます。

※災害救援基金に十分な蓄えがある場合

④大規模プログラム補助金

毎年1口の補助金が競争制で授与され、クラブまたは地区が提唱する3年～5年のプログラムを支援するために財団から200万米ドルが授与されます。すでに成果が実証されており、より多くの場所のより多くの人びとを支援するために拡大可能なものである必要があります。

3 地区補助金による活動の種類

地区は地区補助金を用いて幅広い活動を支援することができます。地区補助金による活動例には以下のようなものがあります。

- ①地元や海外の奉仕プロジェクト(人道支援に関わるもの)

授与と受諾の条件
地区補助金



②職業研修チーム(VTT)

- (1)協同提唱や、海外クラブ地区との協力といった要件がない。
- (2)チームの人数や研修期間に制限がない。
- (3)チームは、研修を提供することも、受けることもできる。

③奨学金

- (1)レベル(高校、大学、大学院)、期間、場所(国内あるいは海外)専攻分野に関する制約がない。
- (2)奨学金の額に制限がない地区は、地区補助金を用いて支援しようと計画している職業研修チームや奨学金についての独自の基準と管理運営手続を定めるよう奨励されています。

(※当地区では財団奨学金募集窓口を地区に一本化しています。詳しくは地区財団奨学金・平和フェロー委員会へお問い合わせください)

4 グローバル補助金による活動の種類

グローバル補助金は、恩恵を受ける地域社会あるいは参加者のニーズに基づき、さまざまな活動を支援するものです。すべての補助金活動は、グローバル補助金の授与と受諾の条件に記載されている資格要件を満たすものでなければなりません。

グローバル補助金の構成の下では、クラブと地区は、より柔軟に重点分野においてロータリー財団の使命を推進していくような補助金活動を実施していくことができます。

-- 1.人道的プロジェクト --

グローバル補助金は、以下の条件に基づいて、人道的プロジェクトに使用することができます。

- ① 重点分野の1つもしくは複数の目標を支えるものであること。
- ② 恩恵を受ける地域社会に測定可能な成果をもたらすものであること。
- ③ 補助金を使用した後も持続する成果をもたらすものであること。
- ④ 最も緊要なニーズに取り組むために恩恵を受ける地域社会と協力し立案されたものであること。
- ⑤ 地域社会と一体となってニーズに取り組むものであること。

授与と受諾の条件
グローバル



-- 2. 奨学金 --

グローバル補助金は、以下の条件に基づいて、奨学金に使用することもできます。

- ①重点分野の1つあるいは複数に関連する大学院レベルの研究に提供される奨学金であること。
- ②原則として1～4年間の研究に提供される奨学金であること。
- ③派遣地区から海外の受入地区に留学する奨学生に提供する奨学金であること。

-- 3. 職業研修(VTT) --

グローバル補助金はまた、職業に関連する技術を学んだり、特定の分野において現地の人々を指導したりする目的で、専門職に携わる人々から成る職業研修チームを海外に派遣するために使用することもできます。以下は、職業研修チームの派遣に関する詳細です。

- ①チーム派遣により、チームあるいは恩恵を受ける地域社会の能力が高められる。
- ②人道的プロジェクトあるいは奨学金と付随し職業研修チームの派遣をできる。
- ③チームは、異なる職業に携わるメンバーから構成することもできる。ただし、同じ重点分野を支援するという共通の目的を持っていないとしない。
- ④チームの構成は、ロータリアンであるチームリーダーが少なくとも1名、ロータリアンではないチームメンバーが少なくとも2名としなければならないが、人数の上限はない。
- ⑤参加者の年齢制限と研修期間の制約がない。
- ⑥1つの補助金で、複数のチームを派遣することができる。

5 各委員会の任務

ロータリー財団委員会

ロータリー財団部門の各委員会を統括し、ロータリー財団部門全体の運営研修企画・調整・広報等を行います。メンバーは、ロータリー財団部門長及び各委員会の委員長を基本に構成されます。また、クラブと地区とで交わすMOUを管理監督すると共に、補助金管理セミナーを援助します。

財団補助金委員会

ロータリー財団の補助金を管理し、補助金活動の実施や教育的、職業的、人道的プロジェクトを企画実施するクラブを支援します。クラブと地区への補助金の配分に関して地区の方針を定め、その方針を実行します。地区補助金の申請、承認、実施報告書等の一連の活動を援助します。また、各補助金の予算管理も行います。

ポリオプラス委員会

財団のポリオ根絶活動について、ロータリアンや地域社会の啓蒙活動を行い、募金活動、公共イメージ向上の活動等を企画します。クラブに対してその企画や目標設定のアドバイスを行います。



財団奨学金・平和フェロー委員会

ロータリー財団による、グローバル奨学金、地区奨学金、平和フェローの学生の募集、選考、申請、送り出し、報告を担当します。

財団資金推進委員会

寄付推進のあらゆる側面(戦略的方向性、方針、ガイドラインの作成や推奨なども含む)について各クラブを援助し、助言を提供し、財団への寄付・資金推進、を行います。

ロータリーカード推進委員会

ロータリーカードについて、各クラブへの説明、推進を担当します。

6 各クラブが取り組むこと

-- 1.地区補助金管理セミナーへ出席 --

毎年行われる地区主催の補助金管理セミナーにクラブより2名(最低1名以上)の出席をお願いします。
このセミナーへの出席が補助金参加資格の条件になります。

-- 2.MOUを地区と取り交わす --

MOUとは、Memorandum of Understandingで覚書のことです。この覚書を地区と取り交わすことも同じく補助金の受給資格条件になります。各クラブは必ず地区とこのMOUを取り交わしてください。

-- 3.補助金申請書を提出 --

補助金の申請の時期が実施年度の前年になりますので、早めに補助金を使うプロジェクトを立案する必要があります。
地区補助金はクラブや地区委員会から申請のあったプロジェクトを地区の補助金委員会で審査し、補助金をいくら交付するのかを確定します。
現在は原則DDFの50%が上限と多くのクラブからの申請にこたえることができますと考えられます。積極的に御参加ください。
また、その際にはクラブにて補助金専用の口座を開設して頂き、補助金はクラブ補助金専用口座に入金されます。

-- 4.事業を実施 --

会員皆様の積極的な事業への参加をお願いします。

-- 5.事業完了報告書を地区に提出 --

事業終了後1ヶ月以内に報告書を提出。通帳、領収書、写真等も一緒に提出。
(※クラブの地区補助金申請・報告の御質問は地区財団補助金委員会へお問い合わせください)

7 地区補助金基準

- ①補助金管理セミナーに出席していること
- ②MOUと各種書類を期限内に提出すること
- ③ロータリー財団の使命に沿った事業であること
- ④ロータリー財団地区補助金の「授与と受諾の条件」に沿っていること

8 グローバル補助金における重点分野

- 平和の推進
 - 疾病との闘い
 - 水と衛生
 - 母子の健康
 - 教育の支援
 - 地域経済と社会の発展
 - 環境の保護
- (グローバル補助金においては重点分野以外の用途に使用できません)



9 地区グローバル補助金基準

- ①補助金管理セミナーに出席していること
- ②MOUを期限内に提出すること
- ③年次基金の寄付実績を継続していること
- ④グローバル補助金の「*授与と受諾の条件」に沿っていること(*My Rotary参照)
- ⑤申請事業は各クラブ1事業とする
- ⑥一事業あたり予算は30,000ドル以上とする(但し上限は400,000ドル)

10 グローバル補助金による活動の種類

グローバル補助金は、ロータリーの7つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす国際的活動を支援します。

クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。

-- 人道的プロジェクト --

- ① 重点分野の1つもしくは複数のプロジェクトであること。
- ② 恩恵を受ける地域社会やロータリークラブと協力し立案する。
- ③ グローバル補助金を使い尽くされた後も持続する成果をもたらすものであること。

-- VTT(職業研修チーム) --

グローバル補助金VTTは重点分野の1つもしくは複数のプロジェクトを海外で指導したり、研修したりするチームであり、現地の専門職業人にスキルや知識を提供するものです。

11 グローバル補助金による奨学金

グローバル補助金を使って、海外の大学院でロータリーの7つの重点分野のいずれかに関連する分野を学ぶための奨学金を提供できます。

学位取得を目的としてこの奨学金を利用することも可能です。

また、給付型奨学金の為返済の必要はありません。

期間終了後、就職または就学した時、ローターアクトクラブ、ロータリークラブ等へ入会し、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を構築する架け橋となることが望まれます。

(※当地区では募集窓口を地区に一本化しています。詳しくは地区財団奨学金・平和フェロー委員会へお問い合わせください。)

12 グローバル補助金における要件

-- 支給額と支給方法 --

予算30,000ドル以上のプロジェクトが対象となります。

グローバル補助金では、クラブ／地区からのDDF(地区財団活動資金)に対して80%のWF(国際財団活動資金)の上乗せが財団から追加されます。

-- 資格条件 --

活動が実施される国の地区とクラブおよび援助国側のクラブは、グローバル補助金に申請する前に、参加資格認定を受けなければなりません。

-- 申請の提出にあたってのポイント --

しっかりとしたプロジェクト計画とグローバル補助金の申請書を仕上げするために、計画の早い段階から地元の専門家と相談しましょう。

地区委員会がそのお手伝いをできます。

申請が承認されるには、プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動で以下の要件が明確に記載されていなければなりません。

- ・持続可能であり、補助金の資金を使い尽くされた後も活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること。
- ・測定可能な目標を持っていること。7つの重点分野のいずれかに該当すること地域社会のニーズに応えること。
- ・ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること。
- ・グローバル補助金の「授与と受諾の条件」に記載された要件を順守すること。

グローバル補助金は、年度を通じて随時申請することができ、

申請が受理された順に審査が行われます。

詳しくは、My Rotary→補助金センターから入り申請作業をしてください。

(※申請を考えているクラブは地区ロータリー財団委員会に御相談ください)

13 平和フェローシップ

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高100名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。

フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれます。

創設から10年あまり、ロータリー平和センターは1,200人以上の人材を輩出してきました。その多くは、国連や世界銀行といった国際機関や草の根のNGOでリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍しています。

-- ロータリーのフェローシップ --

毎年、ロータリー財団は、世界各地の名門大学で修士号(年に最高50人)または専門能力開発修了証(年に最高50人)を取得するためのフェローシップ(奨学金)が授与しています。

< 修士号取得プログラム >

さまざまな国出身の多様な学生が、平和と開発の分野で研究に基づく知識とスキルを学びます。フェローシップの期間は15～24カ月。

学期間の休みにフェロー自らが計画した2～3カ月の実地研修(インターンシップ)を行います。

< 専門能力開発修了証プログラム >

経験のあるリーダーが平和促進と国際開発に必要な実践的スキルを学びます。期間は3カ月(2～3週間の実習を含む)。既に職歴のある専門職業人が対象。

-- 平和フェローシップの申請資格 --

平和フェローシップの候補者は、以下の要件を満たしている必要があります。

- 優れた英語力。第二言語能力(日本語を含む)をもつことが推奨される
- 国際理解と平和への熱意を実証
- 優れたリーダーシップ
- 修士号取得プログラム:関連分野における少なくとも3年間のフルタイムの職歴またはボランティア経験。学士号
- 専門能力開発修了証プログラム:関連分野における少なくとも5年間のフルタイムの職歴またはボランティアの経験。

-- ロータリー平和センター --

< 修士号取得プログラム >

デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校
(米国、ノースカロライナ州)

デューク大学では国際開発政策の修士課程、ノースカロライナ大学チャペルヒル校では国際平和と紛争解決の卒業証書コースが提供されています。

国際基督教大学(日本、東京)

国際基督教大学(ICU)のアーツ・サイエンス研究科は学際的なプログラムと一般教養的アプローチで知られています。フェローは公共政策・社会研究専攻科で平和研究の修士号取得をめざします。

ブラッドフォード大学(英国、ブラッドフォード)

同大学の平和研究学部は世界最大を誇り、平和、紛争、安全保障、開発と関連する複数の修士号プログラムを提供しています。

クイーンズランド大学(オーストラリア、ブリズベン)

平和フェローは、国際研究、平和、紛争解決分野の修士号取得をめざします。

ウプサラ大学(スウェーデン、ウプサラ)

平和・紛争研究学部では社会科学の修士号を取得でき、全世界で無償利用できる紛争関連のデータ収集プログラムで知られています。

< 専門能力開発修了証取得プログラム >

チュラロンコーン大学(タイ、バンコク)

世界とアジア太平洋地域に焦点を当てた理論と実践をバランスよく取り上げた学際的プログラム。

マケレレ大学(ウガンダ、カンパラ)

アフリカ出身者、職務経験がある人社会を変革するための方策に影響し、行動を起こすための方策を学ぶことのできるコースです。

14 **ロータリー財団寄付認証**

-- 個人からのご寄付の認証 --

< 「財団の友」会員 >

年次基金に毎年100ドル以上のご寄付をした方。

< ベネファクター >

遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を受取人として指定した方、または恒久基金に1,000ドル以上を現金で寄付された方。ベネファクターには、認証状と記念の襟ピンが贈られます。

< ポール・ハリス・フェロー >

年次基金、ポリオプラス、承認された財団補助金のいずれかに1,000ドル以上を寄付した方。寄付者は、ご本人以外の方のお名前でも1,000ドル以上を寄付することで、ポール・ハリス・フェローの称号をほかの人に贈ることもできます。

< マルチプル・ポール・ハリス・フェロー >

年次基金、ポリオプラス基金、または財団が承認した補助金プロジェクトに追加で1,000ドル以上をご寄付いただくごとに、「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」として認証されます。

< ポール・ハリス・ソサエティ・メンバー >

毎年合計1,000ドル以上を、年次基金、ポリオプラス基金、またはロータリー財団が承認した補助金プロジェクトに寄付する方。

< 遺贈友の会 >

ロータリー財団に1万ドル以上の寄付を誓約した方を対象としています。

- 10,000ドル: 遺贈友の会襟ピンと額に入れることができる芸術品
- 25,000ドル: Rotary's Promiseのクリスタル、冠名基金、上記すべて
- 50,000ドル: 2つの重点分野または地区を指定した別途の冠名基金ならびに上記すべて
- 100,000ドル: カスタマイズされたRotary's Promiseのクリスタルならびに上記すべて
- 250,000ドル: 逝去後のアーチ・クラフ・ソサエティへの入会ならびに上記すべて
- 500,000ドル: ロータリー国際大会での特別席や登録に関する特典ならびに上記すべて

< メジャードナー >

累積寄付の合計が10,000ドルに達した方。

クリスタル製認証品とメジャードナーの襟ピン(またはペンダント)を受け取ることをお選びいただけます。認証の品は、以下寄付レベルに基づいています。

- レベル4: 100,000～249,999ドル
- レベル3: 50,000～99,999ドル
- レベル2: 25,000～49,999ドル
- レベル1: 10,000～24,999ドル

< アーチ・クランフ・ソサエティ >

累積寄付の合計が250,000ドルに達した方。

ソサエティ入会者は、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー本部にある「アーチ・クランフ・ソサエティ・ギャラリー」(タッチパネル式スクリーン)に肖像写真と略歴が掲載されます。また、以下の各レベルに応じて、アーチ・クランフ・ソサエティの襟ピンとクリスタル製認証品が贈られます。

アーチ・クランフ・ソサエティの詳細はこちらをご覧ください。

- ・管理委員会サークル: 250,000～499,999ドル
- ・管理委員長サークル: 500,000～999,999ドル
- ・財団サークル: 1,000,000～2,499,999ドル
- ・管理委員会プラチナサークル: 2,500,000～4,999,999ドル
- ・管理委員長プラチナサークル: 5,000,000～9,999,999ドル
- ・財団プラチナサークル: 10,000,000ドル以上

< レガシー・ソサエティ >

恒久基金に100万ドル以上の寄付を誓約された方は、ロータリーの年次報告にお名前が記載されるほか、国際ロータリーとロータリー財団の特別行事に招待されます。レガシー・ソサエティ会員には特別な認証品が贈られるほか、遺贈友の会会員のための特典すべてが与えられます。

-- クラブからのご寄付に対する認証 --

< 100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ >

正会員全員がポール・ハリス・フェローとなったクラブ(1度限りの認証)。

< 100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ >

1ロータリー年度中に正会員全員が、年次基金、ポリプラス基金、グローバル補助金プロジェクトのいずれかに合計1,000米ドル以上寄付したクラブ。

< 100%ロータリー財団寄付クラブ >

1ロータリー年度の会員一人あたりの平均寄付額が100ドル以上であり、正会員全員が次のいずれか(またはすべて)に少なくとも25ドル以上を寄付したクラブ: 年次基金、ポリオプラス基金、ロータリー財団が承認した補助金、恒久基金。

< 100%Rotary's Promiseクラブ >

会費を支払っているすべての会員が財団を支援しているクラブ。遺産計画におけるロータリー財団への寄付の誓約または恒久基金への1,000ドル以上の直接寄付を行ったクラブ。

< 「Every Rotarian, Every Year」クラブ >

1ロータリー年度の会員一人あたりの年次基金への平均寄付額が100ドル以上であり、正会員全員が年次基金に少なくとも25ドル以上を寄付したクラブ。

< 年次基金への一人あたりの寄付額上位3クラブ >

各地区で一人あたりの年次基金への平均寄付額が上位3位のクラブ。一人あたりの平均寄付額が少なくとも50ドル以上であるクラブが対象となります。

-- 冠名の機会 --

寄付者または特定の方のお名前のついた冠名基金または冠名指定寄付としてご寄付いただくことも可能です。

冠名基金を設置した場合、元金はそのまま、投資収益の一部のみが寄付者が指定したプログラムに恒久的に活用されます。

冠名指定寄付は、通常、次のロータリー年度に全額が使用されます。

< グローバル補助金冠名指定寄付 >

- 500,000ドル以上: 次の選択肢を3つまで特定できます。地区スポンサー、重点分野、プロジェクトの実施地、または補助金活動の種類(プロジェクトまたは奨学金)
- 250,000ドル以上: 上記の選択肢のうち2つまでを選択できます。
- 150,000ドル以上: 1つの補助金種類(人道的プロジェクト、奨学金、または職業研修チームなど)を選択することができます。

< 冠名基金 >

25,000ドル以上のご寄付の場合、以下のいずれかを寄付先として指定できます。

- 重点分野: 重点分野のいずれかを支援するグローバル補助金に資金を提供
- 国際財団活動資金(WF): 重点分野すべてのグローバル補助金に資金を提供
- シェア: WFを支援し、地区財団活動資金(DDF)に資金を提供
- ロータリー平和センター: 紛争解決、平和研究、国際関係といった分野での専門家を研修するために、世界の有名大学とロータリーが結んでいるパートナーシップに資金を提供

*** 当地区には個人の冠名の他にも地区として下記の冠名基金があります***

--「国際ロータリー第2510地区 北海道西部 ロータリー平和センター基金」--
RID 2510 West Hokkaido Rotary Peace Center Endowed Fund

< グローバル補助金冠名指定寄付 >

- 150,000ドル: ご希望の2つまでの重点分野におけるグローバル補助金または財団の特別な取り組み(WASH in Schoolなど)に資金を提供する1回のご寄付
- 30,000ドル: ご希望の1つの重点分野における2件以上のグローバル補助金に資金を提供する1回のご寄付
- 15,000ドル: 補助金を提唱する地区を特定することなしに、ご希望の1つの重点分野における1件のグローバル補助金に資金を提供する1回の寄付

< ロータリー平和センター冠名基金の機会 >

- 150万ドル: 毎年、ロータリー平和センターで学ぶ平和フェローを1名支援
- 100万ドル: 2年ごとに、ロータリー平和センターで学ぶ平和フェロー1名を支援
- 100万ドル: ほぼ毎年、ロータリー平和センターで1年間指導する客員講師1名を支援
- 750,000ドル: 3年ごとに、ロータリー平和センターで学ぶ平和フェロー1名を支援
- 500,000ドル: 4年ごとに、ロータリー平和センターで学ぶ平和フェロー1名を支援
- 250,000ドル: 毎年、専門能力修了証取得プログラム(3カ月間)のフェロー1名を支援
- 100,000ドル: ロータリー平和センターでの年次セミナー1回を支援
- 25,000ドル: 一般的な支援を提供

< ロータリー平和センター冠名指定寄付 >

- 75,000ドル: 2年間の修士号プログラムに参加するロータリー平和フェロー1名支援する資金を提供
- 75,000ドル: 平和フェローが参加するインターンシップまたは研究プロジェクト10件まで資金を提供
- 60,000ドル: 3カ月専門能力開発修了証プログラムに参加するフェロー5名支援する資金を提供
- 10,000ドル: 一般的な支援を提供

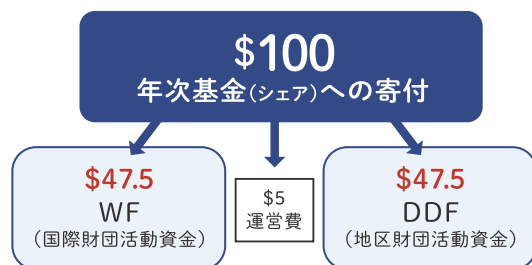
< ロータリー平和シンポジウム冠名指定寄付 >

- 400,000ドル~500,000ドル
平和シンポジウムの費用を賄うための資金を提供
- 50,000ドル~100,000ドル
寄付者が指定した平和シンポジウムの特定部分(講演者、ロータリー平和フェローの旅費など)を完全に賄うための資金を提供
- 10,000ドル~25,000ドル
平和シンポジウムに付随したホスト付きレセプションのための資金提供
- 10,000ドル以上
平和シンポジウムのための一般的支援を提供

< 平和のための新たな機会: 冠名寄付 >

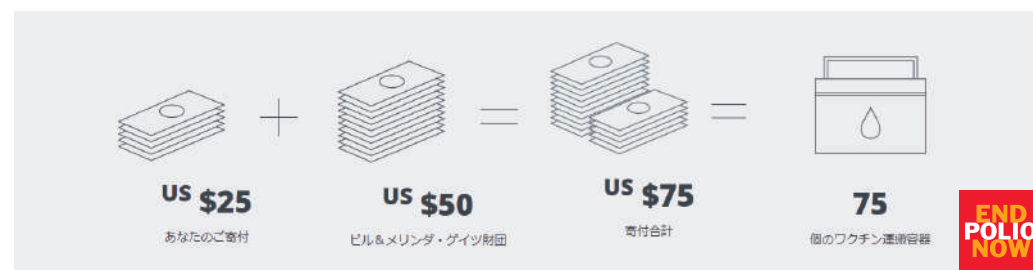
75,000ドル～100万ドル

グローバル補助金のためのロータリー平和プログラムやロータリー平和センターの枠組みでの新しい機会(ワークショップ、リトリート、そのほかの取り組み)に資金を提供



ご寄付は、シェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動を支える補助金に生まれ変わります。クラブからの年次基金(シェア)へのご寄付は、管理運営のために5%が差し引かれた後、ロータリー年度末に国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に分けられます。寄付の3年後にこのDDFをクラブや地区、または財団のプロジェクトに活用できます。DDFの半分までを地区補助金として使用でき、残りをグローバル補助金の申請、ポリオプラスやロータリー平和センターの支援等の寄贈のために使うことができます

< ポリオ根絶へのご寄付 >



PHS申込書

<https://www.rotary.org/ja/about-rotary/history/paul-harris-society>



MEMO

クラブの参加資格認定:覚書(MOU)

ロータリー財団 (2024-25年度補助金提出用)

1. クラブの参加資格
2. クラブ役員の責務
3. 財務管理計画
4. 銀行口座に関する要件
5. 補助金資金の使用に関する報告
6. 書類の保管
7. 補助金資金の不正使用に関する報告

1. クラブの参加資格

クラブは、ロータリー財団のグローバル補助金とパッケージ・グラントの活用にあたって、ロータリー財団(以下「財団」)から提供されるこの覚書(MOU)に記載された財務と資金管理の要件を遂行すること、および、毎年最低1名のクラブ会員を地区主催の補助金管理セミナーに出席させることに同意しなければならない。地区は、クラブの参加資格として追加の要件を定めたり、地区補助金の活用についてもクラブの参加資格認定を義務づけることができる。これらの条件をすべて満たすことにより、クラブの参加資格が認定され、ロータリー財団補助金プログラムにクラブが参加することが認められる。

- A. 参加資格条件がすべて満たされた場合には、1ロータリー年度にわたり、クラブの補助金への参加資格が認められる。
- B. クラブが認定状況を維持するには、この覚書(MOU)、地区が定めた追加要件、その他該当するすべてのロータリー財団方針を順守しなければならない。
- C. 資金の管理を誰が行ったとしても、クラブが提唱した補助金資金の使用に対しては、クラブが責任を負う。
- D. 以下のような補助金資金の不正使用ならびに不適切な管理(ただしこれらに限られない)が確認された場合、クラブの参加資格が保留、あるいは取り消しとなる場合がある:
不正、偽造、会員情報の改ざん、重大な過失、また受益者の健康、福利、安全を脅かす行為、不適切な寄付、私益のための資金使用、利害対立の未開示、個人による補助金資金の独占、報告書の偽造、水増し行為、受益者からの金銭の受領、不法行為、認められていない目的での補助金資金使用。
- E. クラブは、いかなる財務監査、補助金監査、業務監査にも協力しなければならない。

2. クラブ役員の責務

クラブ役員は、クラブの参加資格認定およびロータリー財団補助金の適切な使用について主要な責任を有する。

クラブ役員には以下が含まれる。

- A. クラブの資格認定手続きの遂行と管理、認定状況の維持を担当するクラブ会員を最低1名任命する。

- B. すべてのロータリー財団補助金が、資金管理の方策と適切な補助金管理の慣行に従って管理されるよう確認する。
- C. 補助金に関与するすべての人が、実際の利害の対立や、利害の対立であると認識される事態を避けるように活動するよう確認する。

3. 財務管理計画

クラブは、補助金の一貫した管理を行うために、書面で財務管理計画を作成しなければならない。

財務管理計画には、以下の手続きが含まれていなければならない。

- A. すべての領収書と補助金資金の支払いの記録を含め、標準的な会計基準に則って会計を維持する。
- B. 必要に応じて、補助金の資金を支払う。
- C. 資金の取り扱いは、複数人で分担する。
- D. 補助金で購入した備品・設備やその他の財産の目録システムを確立し、補助金関連活動のために購入したもの、作られたもの、配布されたものの記録を付ける。
- E. 資金の換金等を含む全補助金活動が、現地の法律や規制を順守したものであることを確認する。

4. 銀行口座に関する要件

補助金資金を受け取るには、ロータリー財団の補助金資金の受領と支払いのみを目的とする口座をクラブが設けなければならない。

- A. クラブの銀行口座は以下を満たしていなければならない。
 1. 資金の支払いには、クラブの少なくとも2名のロータリアンが署名人となること。
 2. 低金利、または無金利の口座であること
- B. 利子が生じた場合には、すべて書類に記録し、承認された補助金活動に使用するか、ロータリー財団に返還しなければならない。
- C. クラブが提唱する各補助金につき、別個の口座を開設し、口座名は、補助金用であることが明らかに分かるものとすべきである。
- D. 補助金は、投資用口座に預金してはならない。これには、投資信託、譲渡性預金、債権、株の口座が含まれる(ただし、これらに限られるものではない)。
- E. ロータリー財団補助金資金の受領および使用を裏付ける銀行明細書をいつでも提示できるようにしておかなければならない。
- F. クラブは、署名人の交代に備えて、銀行口座の管理責任の引継ぎ計画書を作成し、保管しなければならない。

5. 補助金資金の使用に関する報告

クラブは、ロータリー財団のすべての報告要件に従わなければならない。補助金に関する報告を通じて、ロータリー財団は補助金の使用状況を知ることができる。このため、この報告は補助金の適切な資金管理の重要な部分である。

6. 書類の保管

クラブは、参加資格認定とロータリー財団補助金に関連する重要書類を保存するための、適切な記録管理システムをつくり、これを維持するものとする。これらの書類を保管することにより、補助金管理の透明性が保たれるとともに、監査や財務評価の準備に役立つ。

- A. 保管する必要がある書類には、以下が含まれる(ただし、以下に限られない)。

1. 銀行口座に関する情報(過去の銀行明細書を含む)。
 2. 署名入りのクラブの覚書(MOU)を含む、クラブの参加資格認定に関する書類。
 3. 計画や手続きを記載した書類。これには以下が含まれる。
 - a. 財務管理計画書
 - b. 書類の保存と管理の手続き
 - c. 銀行口座署名人の引継ぎ計画書、および銀行口座の情報と書類の保管
 4. 購入したすべてのものの領収書と請求書を含む、補助金に関連する情報
- B. クラブの記録は、クラブのロータリアンが、または地区が要請した場合は地区が、閲覧、入手できるようにしなければならない。
- C. 書類は、少なくとも5年間、もしくは国や地域の法律によってはそれ以上の期間、保管しなければならない(日本の場合、グローバル補助金奨学金に関する書類は10年間保管しなければならない)。

7. 補助金資金の不正使用に関する報告

補助金資金の不正使用や不適切な管理があった場合、またはそう疑われる場合には、クラブはこれを地区に報告しなければならない。このような報告により、補助金資金の不正使用が絶対に許されないという環境をクラブ内に作り出すことができる。

承認と同意

この覚書(MOU)は、クラブと地区の間に交わされる同意書であり、補助金活動の適切な管理と財団補助金資金の適切な管理を行うための措置をクラブが取ることを認めるものである。この文書を承認することにより、クラブは、この覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従うことに同意する。

_____ロータリー・クラブを代表し、下記署名人は、2023-2024ロータリー年度、この覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続に変更や修正があった場合には、国際ロータリー第2510地区に通知することに同意する。

クラブ会長		クラブ会長エレクト	
就任年度	2023-2024年度	就任年度	2023-2024年度
氏名		氏名	
署名		署名	
日付		日付	